

牛久市



牛久市市制施行40周年

円滑な避難所運営を 実現する鍵

いつ起きるかわからない地震 その被害は…



牛久市市制施行40周年

【茨城県南部地震】茨城県地震被害想定調査報告書(H30)

牛久市 被害	人的被害 (冬深夜)	死者 負傷者	14人 243人
	建物被害 (冬18時)	全壊・焼失 半壊	533棟 1,537棟

【首都直下地震】

南関東地域を震源とするマグニチュード7クラスの地震は

今後30年以内に70%

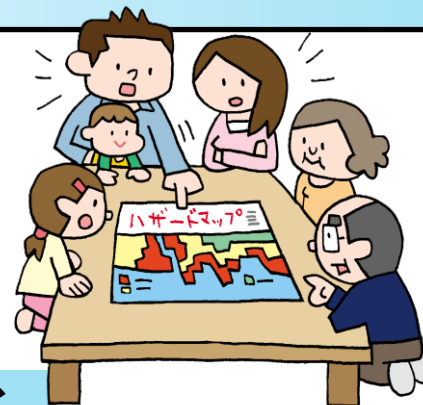
自分の身は自分で守る 自分たちの地域は自分たちで守る



牛久市市制施行40周年



自助



自ら備え、いのちを守る

共助

地域や隣近所で助け合う

公助

公的機関が支援する



「自助」から「共助」につなぐことが重要

いざという時！公的機関の支援は？

公助

公的機関が支援する

牛久市民 83,606人

牛久市職員 397人

(令和7年4月1日現在)

職員1人当たり 市民210人

- 市内の被害状況の把握 ■食料・物資の受入、配布
- 道路等重要インフラの復旧作業 ■災害ごみの処理
- 応急仮設住宅の建設 etc... 緊急かつ多岐にわたる業務



円滑な避難所運営を実現する鍵 ～地域が担う避難所運営～



牛久市市制施行40周年

【避難所運営訓練の様子】

令和7年11月30日（日）牛久第二小学校体育館



円滑な避難所運営を実現する鍵 ～地域が担う避難所運営～



牛久崎市市制施行40周年

避難所運営委員会が避難所の**リーダー**
避難者みなで協力して運営

【避難所運営委員会】

地域が中心となって避難所を運営

- 行政区長・役員
- 自主防災組織
- 防災士



**避難者が
協力**

円滑な避難所運営を実現する鍵 ～地域が担う避難所運営～



牛久市市制施行40周年

避難所の運営は**避難所運営委員会**の
会長を中心に各班の活動により行う

(総務班) (名簿班) (広報班) (食料班) (物資班) (救護班) (衛生班)

委員会事務局

名簿の作成・
管理

生活情報の
提供

食料、水の
配給・管理

物資の
配給・管理

体調不良者の
対応

トイレ・ゴミ
の対応

円滑な避難所運営を実現する鍵 ～地域が担う避難所運営～



牛久市市制施行40周年

**「避難所運営訓練」を
順次すすめていきます。
※年4か所ほど**



ご清聴 ありがとうございます

牛久市市制施行40周年